

九州医療センター たより

51 January
2024



基本 理念

病む人に寄り添い、安全かつ最適な医療を提供します

令和6年の干支は「甲辰（きのえ たつ）」。「今まで学んできたことや育んできたことが実を結ぶ転機」という意味合いがあるそうです。九州医療センターにとりましても、開院30周年の節目を迎え、理念と実績に裏打ちされたブランド力をさらに高める転機にしたいと思えます。

ブランド力と言えば、2010年当時窮地にあったユニバーサル・スタジオ・ジャパン（USJ）の経営をV字回復させたことで有名なマーケティングのプロフェッショナル森岡毅氏の著書を読みました。彼が組織を変えていくためにやったことは「たった1つ」、「徹底した消費者目線」を全社員に植え付けたことだそうです。有能なクリエイターが高い技術力を駆使して作り込んだ上質なハリウッド映画のエンターテインメントを見せるという従来のビジネスモデルから、お客さんが飛行機や新幹線に乗ってでも



新年あけまして

おめでとうございます

院長 岩崎 浩己

「九州医療センターでよかった」と
言っていただけのために



体験しに來たいと思うアトラクションをまさに消費者目線で開発することへの意識改革。資金投資しなくても、今あるジェットコースターを後ろ向きに走らせただけで経験価値が大きく上がるという発想力には驚かされます。

病院は奇想天外なテーマパークとは事情が異なりますが、「徹底した患者さん目線」を浸透させることには大きな意味があるはず。有能なクリエイターである医師が上質な医療を提供するなかで、患者さんやご家族の思いに「寄り添う」ことを今まで以上に意識する必要があります。「九州医療センターでよかった」と皆さんに言っていただけのこと、それが最強のブランド力だろうと思えます。

今年7月から新紙幣が導入されますが、澁澤榮一、津田梅子、北里柴三郎の3偉人が肖像画に選ばれています。新1万円札は「近代日本経済の父」と称されNHK大河ドラマ「青天を衝け」

でも描かれた澁澤ですが、たいへん慈悲深かった母の影響を受けて社会福祉活動にも熱心でした。身寄りのない子どもやホームレスのための東京養育院（現東京都健康長寿医療センター）を設立し院長を務めています。また、東京慈恵会、恩賜財団済生会、聖路加国際病院などの創設に関わり、医療福祉の発展に尽力しました。新5千円札の津田梅子は本邦初の女子留学生で女子英学塾（現津田塾大学）の創設者、まさに女子教育の先駆者です。新千円札の北里柴三郎は「近代日本医学の父」と称されます。熊本県小国市の出身で熊本医学校に学び、ドイツ留学ではロベルト・コッホに師事します。「研究は目的の如何に関わらず、実際に役立つ医療・予防の上に結実されるべき」との信念で、破傷風とジフテリアの血清療法を開発したことは余りにも有名です。医療・医学で業績を遺した二人が今回の新紙幣の肖像画に選ばれたことは、高齢化社会に向けてエッセンシャルワークとしての医療・介護福祉の重要性を象徴しているように思います。私たちも自信と誇りを持って、目の前の患者さんを支え続けたいと思えます。

【出典】

森岡毅著

「USJを劇的に変えた、たった1つの考え方」

新しい日本銀行券特設サイト

(https://www.npb.go.jp/ja/n_banknote/shokai/)

Wikipedia

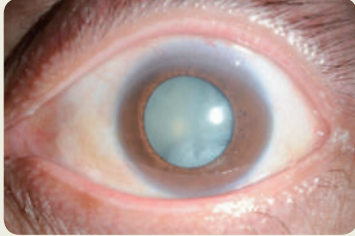


かれい ともな 加齢に伴う眼の病気

眼科科長 長谷川 英一

白内障

眼球にはカメラのレンズに相当する水晶体と呼ばれる組織があります。正常な水晶体は透明ですが、さまざまな原因で水晶体のタンパク質が変性し水晶体が濁ることがあり、この状態が白内障です。最も多い原因は加齢によるものであり、個人差はあるものの年齢を重ねるにつれ水晶体の混濁は強くなっていきます。他の原因としては、アトピー性皮膚炎、糖尿病、外傷、ステロイドなどの薬剤性があります。水晶体が濁ってしまうと、光がよく通らなくなったり光が乱反射するため、霞んで見えたり2重3重にぼやけたり、眩しさを感じたりします。白内障に対する治療は点眼治療と手術治療があります。点眼薬は水晶体が濁るのを遅らせるもので、残念ながら濁りを改善したり視力を回復させることは出来ません。白内障が進行して視力が低下し、日常生活に支障が出てきた際には濁った水晶体を綺麗な人工レンズに置き換える白内障手術を行います。

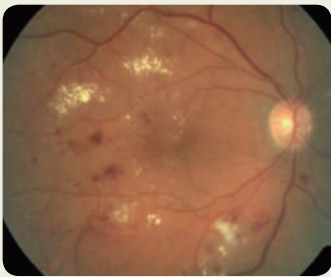


緑内障

眼球の後ろには視神経がついていて脳へと繋がっており、眼球で感じた光の情報を脳へと伝達しています。緑内障はこの視神経が障害され、見える範囲（視野）が欠けたり狭くなったりする病気です。眼の中は血液の代わりに栄養などを運ぶ房水と呼ばれる液体が循環しています。房水の量によって眼の圧が調節されていて、これを眼圧と呼び正常値は20mmHg以下です。緑内障では眼圧が高くなり視神経が障害されるのが原因の一つとされますが、眼圧が正常範囲内にも関わらず緑内障になることもあります。緑内障は初期では自覚症状がほとんどないため、気づかないうちに病状が進行していることが多く注意が必要です。治療は眼圧を下げるための点眼治療を行い、それでも病状が進行する場合は緑内障手術を行います。

糖尿病網膜症

糖尿病に多く見られる眼の合併症として糖尿病網膜症があります。網膜にはたくさんの血管がありますが、糖尿病があると網膜の血管が障害され血液の流れが悪くなり、浮腫と呼ばれる水溜まりが網膜に出来見えにくくなります。また血管が破れて出血した場合も同様に見えにくくなります。糖尿病網膜症は初期の段階では自覚症状がほとんどなく、症状が出た時にはすでに病状が悪化していて、治療しても視力の回復が難しいことがあるため、症状がなくても眼科で検査を受けることが大切です。内科的治療で血糖のコントロールを行うことが最も重要ですが、眼科としては網膜にレーザーを照射して出血を防ぐレーザー光凝固術を行います。また網膜の浮腫に対しては浮腫を軽減する薬剤を眼内に注射する治療も行っています。出血が多い場合や重症の網膜症の場合は手術治療が必要になります。



加齢黄斑変性

網膜の中心部には「黄斑」と呼ばれる重要な部分があり、黄斑に異常をきたすと視力が下がったり、中心が暗く見える、物が歪んで見えるなどの症状が現れます。加齢黄斑変性は黄斑が障害される疾患で、「加齢」の名の通り年齢が高くなると発症しやすくなります。また喫煙者は発症する頻度が高いことが分かっています。黄斑に異常血管が発生し黄斑が障害される滲出型と黄斑組織が徐々に萎縮していく萎縮型があります。滲出型黄斑変性に対しては、異常血管を抑えるための薬剤を眼内に注射する治療を行います。



九州医療センター 食事改善プロジェクト始動

～もっともっと美味しくな～れ！病院食！！～Part3

栄養管理室長
春田 典子

当院では赤ちゃん誕生とご出産されたお母さんへの労いを込めてお祝い膳をご用意しております。以前よりお祝い膳の食事は提供していましたが、この度、ホテル勤務を経験した調理師が中心となり2023年12月1日よりリニューアルし新メニューの提供を開始しました。提供時間は昼食から夕食へシフトしたことにより凝った料理への提供が実現可能となりました。

メニューは調理師各々で考案したものを選出し、食材もこだわり季節の野菜、果物や旬の食材をふんだんに使用したオードブル、メインの魚料理・肉料理、寒い季節にふさわしい温かいポタージュなどご用意しております。また、当院に月2回料理訪問指導に来てくださっているホテル日航福岡 中橋名誉総料理長（以下シェフ）に監修いただき、季節の食材としてピーツをとり入れた美味しいソースの作り方や盛り付けなど工夫を入れることによりこんなに見栄えが違うものかと改めて感じております。味付けはもちろんのことご出産後のひとときをゆっくり楽しんでいただけるメニューになっていると思います。

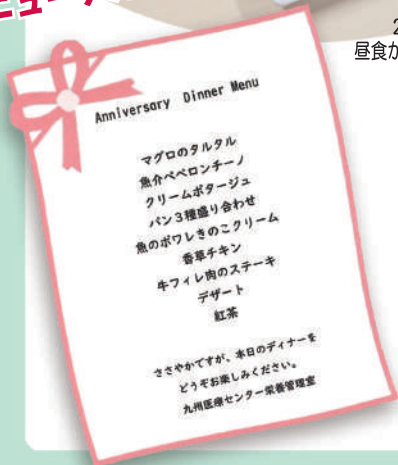
お祝い膳を提供したお母さんからの感想は、「以前のお祝い膳とは違いホテルのような食事で美味しかった」というお言葉を頂戴し調理スタッフのモチベーションが益々高まっています。

中橋シェフ監修
2023/12/1 提供開始
昼食から夕食へと提供時間の見直し

お祝い膳は季節ごとに食材、料理ともにリニューアルしていく予定にしております。今後シェフのお力添えをいただきながら、食事改善に努めてまいります。



出産お祝い膳
リニューアルしました



薬膳レストラン

営業時間：11:00～15:00 定休日：土日祝日



然の膳®

ZEN no ZEN

自家製薬膳タレ漬けの
唐揚げ定食



なお、「然の膳」ホームページでは「手軽に薬膳料理」のレシピも公開されています。当院食堂の窓からは左手に志賀島、右手にベイペイドームが見えます。窓側のテーブルで、外の景色を見ながらランチタイムを過ごされてはいかがでしょうか。

広報誌編集委員ペンネーム：大好物

薬膳カレー



こだわり卵の
月見うどん
かつ丼



「体に良くて、おいしくて、」のメニューで、お客様が薬膳料理を気軽に楽しめ、お客様の健康を手助け出来る様なお店作り日々精進致しております。（然の膳 命題より）

日替わりは2種。食材にもこだわり、お米はオリジナル米『然の膳米』、白米または健康米を選んで頂きます。

九州初出店、食材にこだわった薬膳レストラン「然の膳」が
2023年10月、当院外来棟4階にオープンしました。

独立行政法人 国立病院機構 九州医療センター外来診療担当医表

〒810-8563 福岡市中央区地行浜1-8-1 TEL 092(852)0700 地域医療連携室 TEL 092(833)6806 FAX 092(833)6807

階	診療科名	月	火	水	木	金			
1階	総合診療科	岸原 康浩 新患 居原 毅 新患	岸原 康浩 新患 居原 毅 新患	岸原 康浩 新患 居原 毅 新患	岸原 康浩 新患	岸原 康浩 新患 居原 毅 新患			
	代謝内分泌内科	渡邊 哲博 堀内 由布子 新患	渡邊 哲博 坂本 昌平 新患	渡邊 哲博 新患 坂本 昌平 新患	堀内 由布子 新患 坂本 昌平	勝原 俊亮 新患			
	膠原病内科	石田 素子 新患 高濱 宗一郎	増田 徹 宮村 知也 新患	中村 真隆 増田 徹 新患	田中 孝典 新患 石田 素子	宮村 知也/南 留美 中村 真隆 新患			
	血液内科	吉田 周郎 岩崎 浩己 新患	高瀬 謙 門脇 賢典 新患	中尾 文彦 高嶋 秀一郎 新患	門脇 賢典 吉田 周郎 新患	高瀬 謙 新患 高瀬 謙 新患			
	移植後フォローアップ外来	担当医師							
	消化器内科	肝	中牟田 誠/國府島 庸之 荒武 良総	田代 茂樹 ※5 福泉 公仁隆	中牟田 誠/國府島 庸之 荒武 良総	田代 茂樹 ※5 福泉 公仁隆	國府島 庸之/中嶋 摩依		
		膵 胆	三木 正美	加来 豊馬	原 真児登	三木 正美	加来 豊馬		
		消化管	濱田 匠平	原田 直彦	佐々木 泰介	吉村 大輔	原田 直彦		
	呼吸器内科	松尾 規和 新患 岡元 昌樹	児嶋 隆 新患 南野 高志	岡元 昌樹 新患 武岡 宏明	南野 高志 新患 児嶋 隆	武岡 宏明 新患 松尾 規和			
	腎臓内科	中山 勝/春山 直樹					中山 勝 福井 明子 ※13 藤澤 宏巨 ※13		
	高血圧内科	担当医師					富永 光裕		
	循環器内科	村里 嘉信 大谷 規彰 目野 恭平					森 隆宏/中村 俊博★ 矢加部 大輔★ 井上 修二郎		
	ペースメーカー I.C.D 外来						森 隆宏 竹中 克彦		
	弁膜症外来 ◎午後再来のみ	浦 祐次郎/森 信太郎							
	心不全治療アップデート外来 ◎午後						竹中 克彦/大谷 規彰		
	心臓血管外科	今坂 堅一 ※9 新患	手術日					今坂 堅一/角 裕一郎 鈴木 理大	
	血管外科	手術日					小野原 俊博		
	脳血管・神経内科	杉森 宏/森 興太					桑城 貴弘 田川/溝口 ※11		
	脳血管内治療科						森 興太 岡田 靖 ※12		
	脳神経外科	手術日					溝口 昌弘/西村 中 雨宮 健生		
放射線科	診断	松浦 秀司							
	治療	大賀 才路					前原 純樹 午前		
整形外科・リウマチ科	診療	寺田 和正/福士 純一 小原 伸夫 戸次 大史 新患 原 正光/木村 敦 甲斐 一広					寺田 和正/福士 純一 小原 伸夫 櫻庭 康司 新患 戸次 大史/田丸 哲弥 高村 優希/野口 真妃		
	手術	手術日					手術日		
外科	肝胆膵	当番医師					高見 裕子/和田 幸之 龍 知記		
	消化管	手術日					池尻 公二/坂口 善久 吉田 倫太郎 上原 英雄/久松 雄一 楠元 英次/蓮田 博文		
呼吸器外科	手術日					山崎 宏司 初再診 田川 哲三 再診 上妻 由佳 ※8 再診			
歯科口腔外科	沖永 耕平/吉川 博政 山手 佳苗/中嶋 由唯 永井 清志/赤瀬 稜 米澤 暁					沖永 耕平/吉川 博政 山手 佳苗/中嶋 由唯 永井 清志/赤瀬 稜 米澤 暁			
2階	産科・婦人科	当番医師 新患 蓮尾 泰之 再診	瓦林(午前)/中並(午後) 小川伸二/橋之浦 佳奈 庄 とも子	藤原 ありさ 新患 田中 大智/瓦林 靖広 当番医師	小川 伸二 新患 藤原(午前)/大塚(午後) 早瀬 千尋/荒木 研士郎	蓮尾 泰之 新患 当番医師 再診			
	眼科	長谷川 英一/山名 智志 糸山 花梨/弓削 昂大	手術日					長谷川 英一/山名 智志 糸山 花梨/弓削 昂大	
	未熟児(予約のみ)						当番医師 午後		
	耳鼻咽喉科	中島 真彦/瓜生 英興 藤原 義宣/齊藤 あゆみ	瓜生 英興/齊藤 あゆみ 宮城 慎平/紀井 大志	内 龍太郎 宮城 慎平	中島 真彦/瓜生 英興 内 龍太郎/紀井 大志	藤原 義宣			
	形成外科	森久 陽一郎 新患 古賀 文貴	手術日					森久 陽一郎 新患 古賀 文貴	
	女性外来 (乳腺外科)	岩熊 伸高/岡部 実奈 松嶋 俊太郎 当番医師(※6) 新患	岩熊 伸高/岡部 実奈 松嶋 俊太郎	手術日					岩熊 伸高/岡部 実奈 松嶋 俊太郎 当番医師(※6) 新患
	泌尿器科	吉川 正博/波止 亮 貝通丸 雅士	手術日					平井 良樹/吉川 正博 三好 邦和	
	早期認知外来						岡田 靖		
	小児科	東 加奈子 新患 佐藤 和夫	宮田 達弥 新患 藤吉 順子/高野 由紀子	神野 俊介 新患 佐藤 和夫	宮田 達弥 新患 佐藤 和夫/高野 由紀子	東 加奈子 新患 慶田 裕美			
	小児外科	甲斐 裕樹					手術日(第2・第4)		
皮膚科・アレルギー科	占部 和敬 (酒井 雛子) 西尾 紀一郎/石倉 侑	手術日					占部 和敬 (酒井 雛子) 西尾 紀一郎/石倉 侑		
精神・神経科 ※1	石川 謙介/高橋 潤一	高橋 潤一					石川 謙介		
緩和ケア外来 ◎完全予約制 ※2	原田 卓哉	田村 真吾					原田 卓哉		
腫瘍内科 ※3	田村 真吾 再診 桑山 美幸 初再診	桑山 美幸 再診 土居 靖宗 初再診	田村 真吾 再診 土居 靖宗 初再診	桑山 美幸 再診 土居 靖宗 初再診	桑山 美幸 再診 土居 靖宗 初再診				
免疫感染症内科 ※4	中嶋 恵理子					南 留美 田代 茂樹 ※5			

★受付時間：8時15分～10時30分(紹介状なし) 8時15分～11時30分(紹介状あり)
 ★診療時間：8時30分～17時15分
 ★当院は地域医療支援病院として地域の医院等と連携して治療を行っています。出来るだけ他院からの紹介状をお持ちいただきますようお願いいたします。
 紹介状をお持ちでない場合、別途費用をご負担いただくこととなりますので、予めご了承下さい。
 また、紹介状をお持ちでない場合、直接ご希望の診療科に受診ができません。
 総合診療科を受診してから専門診療科受診となります。この場合、専門診療科受診は後日等になる場合があります。
 ★手術日の外来診療は、原則、急患以外は診療できません(一部例外を除く)ので、予めご了承下さい。
 (※1) 精神・神経科の新患担当は、病棟業務の都合により変更となる場合があります。
 (※2) 緩和ケア外来は、完全予約制となっておりますので、事前に地域医療連携室での予約が必要です。
 (※3) 腫瘍内科への初診新患は、原則、午後1時からの受付となります。
 (※4) 免疫感染症科は、特定の感染症のみ対応します。また、木・金曜日は午前と午後の担当医が変わります。ご紹介の際は、事前連絡にて、ご確認ください。
 (※5) 消化器内科の田代医師は、症状等により診察室を移動することがあります。
 (※6) 乳腺外科の新患受付は、月曜日・木曜日の午前11時からとなります。また、診療開始は午後からです。
 (※7) 脳神経外科：金曜日は手術日となりますので、当日朝に電話で受診可能かご確認ください。
 (※8) 呼吸器外科：火曜日、上妻医師の診療は、12時から15時となります。金曜日の診療は、9時から12時となります。
 (※9) 心臓血管外科：月曜日、今坂医師の診療は、9時30分から10時となります。
 (※10) 小児科のフォローアップ外来は、事前に地域医療連携室での予約が必要です。
 (※11) 脳血管・神経内科：水曜日、偶数週は田川医師、奇数週は溝口医師となります。
 (※12) 脳血管・神経内科：木曜日、岡田医師が不在の場合は、杉森医師の対応となります。
 (※13) 腎臓内科：水曜日、藤澤医師は第1.3週目、福井医師は第2.4週目が担当となります。

(令和6年1月4日現在)